



## 心の状態・感情をあらわす四字熟語

## 熟語

## 意味・例文

いしんでんしん  
以心伝心

言葉にしなくても、お互いの気持ちが伝わり合うこと。  
長年の友人とは以心伝心で会話が成り立つ。

こうめいせいだい  
公明正大

誰にでも公平で、ずるいことをせずに、正しいことをすること。  
彼は公明正大なリーダーとして信頼されている。

いっしょくそくはつ  
一触即発

ちょっとしたことで、すぐにケンカになったり、大変なことが起こりそうな、あぶない状態。  
両国の関係は一触即発の緊張状態だ。

しんきいつてん  
心機一転

気持ちを新しくして、ガラッと変えて、新しい気持ちでやり直すこと。  
転職を機に心機一転した。

めいきょうしすい  
明鏡止水

心がとっても落ち着いていて、一点の心配もない状態。<br>(※前回のリストにもあります)  
禅の境地は明鏡止水だ。

いちじつせんしゅう  
一日千秋

待ち遠しくて、たった一日が何年も待っているみたいに長く感じる事。  
手紙の返事を一日千秋の思いで待つ。

うおうさおう  
右往左往

どうしたらいいか分からなくて、あっち行ったりこっち行ったり、バタバタしている様子。  
火事で住民が右往左往していた。

かんがいむりょう  
感慨無量

とても感動して、言葉にならないくらい、心がいっぱいになる気持ち。  
卒業式で感慨無量の思いに浸った。

きそうてんがい  
奇想天外

誰も思いつかないような、ビックリするくらい面白い、変わったアイデア。  
彼のアイデアは奇想天外だった。

きどあいらく  
喜怒哀楽

嬉しい気持ち、怒る気持ち、悲しい気持ち、楽しい気持ちなど、人間の色々な気持ち全部。  
彼は喜怒哀楽がはっきりしている。

じこちゅうしん  
自己中心

自分のことばかり考えて、他の人の気持ちをあまり考えないこと。  
自己中心的な考え方では信頼を失う。

せいてんはくじつ  
青天白日

疑いが晴れて、何も悪いことをしていなかったことが、はっきりとわかること。  
彼は青天白日の潔白を主張した。

だいたんふてき  
大胆不敵

全然怖がらずに、どんなことにも勇敢に立ち向かうこと。  
彼の行動は大胆不敵だった。

むがむちゅう  
無我夢中

自分のことを忘れるくらい、一つのことに夢中になって、がむしゃらに頑張ること。  
無我夢中で作業した。

ぎしんあんき  
疑心暗鬼

疑い深い気持ちになって、何でもないことを怖く見えたり、悪いことのように思えてしまうこと。  
彼は疑心暗鬼になっている。

いっしんふらん  
一心不乱

一つのことに心と体を全部集中させて、他のことが全く気にならないくらい頑張ること。  
彼は一心不乱に本を読んでいた。\*努力・根性を表す四字熟語と重複

けんになんぶつ  
堅忍不拔

辛いことや大変なことがあっても、じっと我慢して、絶対に心を曲げないで頑張り続けること。  
堅忍不拔の精神で頑張る。\*努力・根性を表す四字熟語と重複